

けいせん

議会だより

第32号

委員会視察

総務経済建設委員会

〔桂川駅舎進捗状況 視察〕

3月21日の開通式にむけ、工事が順調に進んでいました。

完成すれば、駅北側の通勤通学の混雑の緩和や、利便性がより増す事等が期待されます。



文教厚生委員会

〔桂川町立図書館 視察〕

コロナ禍における図書の貸し出し状況を視察しました。

手指消毒、図書カードによる本人確認、図書消毒器設置等、新型コロナウイルス感染症対策が行われています。



一般質問 (12月定例会)



吉川紀代子議員

吉隈一区県道の振動改善と通学路について

問 振動被害はどのように解決するのか。

答 (山本水道課長) 劣化している仕切弁蓋付近の道路補修を行う。

問 県道の通学路はどのように解決するのか。

答 (平井学校教育課長) 安全確保ができるルートを追加指定した。

旧上山田線道路の防犯外灯設置について

問 学生の安全のため、防犯外灯

設置が必要では。

答 (山邊総務課長) 地元区長と協議し設置に向けて検討する。

要介護認定者への特別障害者手当について

問 特別障害者手当制度があることが知られていないので、自治体が周知の方法を工夫するべきでは。

答 (横山保健環境課長) 介護広域連合や障がい者福祉部局と連携して、周知を検討していく。

介護サービスでの医療費控除の周知について

問 介護保険でのサービス利用料は、医師が証明すれば医療費控除対象となることを広く周知するべきでは。

答 (秦 税務課長) 事業者の発行する領収書に控除対象と記載されている。

また、毎年1月初めの確定申告案内チラシにも、医療費控除に関する内容を記載している。

高齢者補聴器購入助成制度導入について

問 認知症予防・医療費の抑制に貢献するとの観点から、加齢性難聴者助成制度が全国的に広がっている現状に鑑み、補聴器購入助成制度創設を考えるべきでは。

答 (井上町長) 身体障害者手帳の取得で対応している。引き続き国や県の動向を注視していく。

本町の管理下にある河川管理について

問 河川の護岸整備や浚渫(しゅんせつ)計画はどうなっているのか。

答 (小金丸建設事業課長) 日常の管理は不定期ではあるが、道路のパトロールと併せて行っている。地元からの要望に応え護岸修繕や浚渫も適宜行っている。

介護保険料引き下げについて

問 基金を活用した保険料引き下げの提案を、広域連合議会で発

言して頂きたい。

答 (町長) 必要に応じて対応していきたい。

(注)「浚渫」 土砂などを取り除くこと



大塚和佳議員

新型コロナウイルス対策に伴う支援等について

問 国からの支援金の使い道を、町民に印刷物で周知すべきでは。

答 (井上町長) 状況に応じて実施していく。

問 総合福祉センターのエアコン工事の町負担分約6,400万円を、国の交付金事業の対象にすることだが、町長の行政報告だけで議員に説明がなかった。

答 (町長) 全て全員協議会で協議しなければならぬとは考えていない。

問 台風対策として、エアコン工事の残額を使って雨戸等を作って

はどうか。

答（町長） 必要であれば、改めて予算を計上していきたい。

問 福祉施設等に対して、来年度のマスクや除菌液等の予算措置は。

答（町長） ぜひ検討したい。

いいバイ桂川について

問 現在はどうなっているのか。

答（町長） 一定の成果は上がっています。

問 桂川町からの収入割合は。

答（森田副町長） 平成30年度76%、令和元年度82%。

問 農業の6次化の現在と今後は。

答（副町長） 現在は取り組みを休止しているが、今後期待している。

地域おこし協力隊について

問 今年度の活動は。

答（副町長） いいバイ桂川のスタッフとして、トライアル産直コーナー運営の取り組み等をしている。

問 協力隊との意見交換会は。

答（町長） 要望があれば実施し

たい。

問 やりがいを感じていると思うか。

答（町長） やりがいを感じている人や、そうでない人もいます。

農業に特化した特産品開発事業補助金について

問 農業だけ3年間の補助金にすれば、特産品を創るきっかけや農家の所得向上になるのでは。

答（町長） 現在の1年間の補助金しか考えていない。

学校でのICT（情報通信技術）活用の人材確保について

問 昨年12月の回答は「予算措置については必要であり、積極的に考えていく」とのことだったが。

答（町長） 専門的な人がいれば、ぜひ検討したい。

コンビニでの住民票等の交付や税金等の納付について

問 飯塚市や嘉麻市は。

答（北原住民課長・秦税務課長） 飯塚市は実施。

問 住民の立場で考えた場合に、今後の予定は。

答（町長） 社会情勢や費用対効果を考え、課題やメリットを検討する。



杉村明彦議員

河川管理について

問 九郎丸から土居を通って、泉河内川へ合流している浦川に土砂が堆積している。大雨時には、あふれそうで住民が心配している。浚渫などの対策は考えているのか。

答（小金丸建設事業課長） 令和2年3月に、川原豊店付近から県道桂川下秋月線との交差点分までの区間を浚渫した。

県道から瀬戸方向の下流部分についても、土砂の堆積が進行していることから、浚渫した方が望ましい。

今後パトロール等を継続し、町民の安全安心な生活の維持に努める。

問 泉河内川の流れをよくするために、県との連携はとれている

のか。

答（建設事業課長） 連携はとれている。

小児がん治療後のワクチン再接種について

問 福岡県では、令和2年4月から造血細胞移植を受けた20歳未満のワクチン再接種費用を助成する市町村に対して、経費の一部を補助する事業を開始した。現在、県内10市町村が助成を行っている。

飯塚市も助成に踏み切る予定。桂川町も行ってはどうか。

答（井上町長） 早急に町の補助制度の創設に向けて取り組んでいきたい。

県道豆田・稲築線について

問 嘉穂総合高校下の交差点から商工会館までの歩道が、横断歩道付近以外はとても暗い。県に対して防犯外灯設置の要望はしているのか。

答（山邊総務課長） 防犯外灯

設置の予定はないとの回答。
現在、設置に向けて、地元区長等と協議をしている。



柴田正彦議員

学校教育等について

問 30人学級の成果は。

答 (大庭教育長) 全国学力・学習状況調査開始以来、本町の小・中学校の学力は大変厳しい状況にあった。

平成23年度から、小・中学校ともに町独自による30人学級措置がとられ、児童・生徒の学力も徐々に向上。平成26年度以降は全国平均値を超えることもあった。

30人学級は少人数であることから、学習・生活の両面に渡って、児童・生徒一人ひとりに目が届き、個にに応じてきめ細やかな指導ができるという利点がある。

また、今のコロナ禍では、教室内の「密」の解消にもつながっている。

問 30人学級の課題は。

答 (教育長) 30人学級は理想的なものであり、これといった課題はない。効果を今以上に発揮するために、今後も支援を強化していきたい。

運営面では、全県的な講師不足の中で、講師を探し出すことが一番の課題。

問 桂川町の子どもが、どのような人に育ってほしいのか。

答 (教育長) 子どもたちには、自信を高め、「努力は裏切らない」ことを体得し、将来への展望を持つてほしい。

成長した姿として、桂川で育った子どもたちは、元気や活力がある・一生懸命努力する・仕事を任せられる・信頼できる

等の評価を受けるような人に育ってもらいたい。

問 桂川小学校の建て替えは。

答 (井上町長) 学校再編の見地からの考察も必要であり、現在は、総合教育会議において問題提起をしている。

小中一貫校や学校の統合など、将来の姿を具体的に町民に尋ねることも必要。具体策を提案できるように取り組む。

報酬審議会の開催について

問 他市町村では、職員の期末手当削減と同時に、首長や議員の期末手当を引き下げた。

桂川町も職員の期末手当を引き下げたので、報酬審議会を開き、町3役と議員の期末手当を引き下げべきだと考えるが。

答 (町長) 今後の状況を見ながら検討していく。

(他は、字数制限のため未掲載)



下川康弘議員

商工業者の育成について

問 地元業者への発注促進や大型物件のJV方式(注2)の徹底について、町長及び建設事業課長の考え方は。

答 (小金丸建設事業課長) 町の工事等を発注する場合、指名競争入札を行っている。

今後予定している大型物件に関しては、地元業者の発展・育成にも配慮した事業となるよう努める。

答 (井上町長) 行政の立場としては、地元業者の育成・振興は重要な施策であり、同時に、経済的効率性・施工の安全管理等を考慮して取り組んでいく必要がある。

今後の事業の進め方について十分検討したい。

(注2)「JV方式」 大手企業と地元企業との共同企業体方式



竹本慶吉議員

農業振興地域の除外について

問 現在どのような手続きが必要か。

答 (大屋産業振興課長) まず除外申請を提出する。

6月と12月、年2回開催している農業振興整備促進協議会において、要件を全て満たしているかを審査。

要件を満たしている場合は、県と協議・調整を行い、同意が得られれば除外される。

問 隣接地が開発を行わなければ開発できないのか。

答 (産業振興課長) 「農業上の効率的かつ総合的な利用に支障を及ぼす恐れがないこと」という要件があり、青地(注3)区域の農地以外に接した土地しか除外が認められていない。
(青地に囲まれた土地は除外できない)

問 除外認定の規制緩和はできないのか。

答 (産業振興課長) 「農業振興地域の整備に関する法律」で定められており、自治体の判断で規制緩和できない。

保育所の再編計画について

問 待機児童の対策はどのようなになっているのか。

答 (江藤子育て支援課長) 現在の待機児童数は13名(0歳11名・1歳1名・2歳1名)。

町立土師・吉隈保育所においては、入所希望者が全員入所できるように、保育士の確保に努めたい。

問 各園の定員と現状はどうか。

答 (子育て支援課長) 土師保育所120名に対して124名。吉隈保育所110名に対して113名。善来寺保育園120名に対して138名。

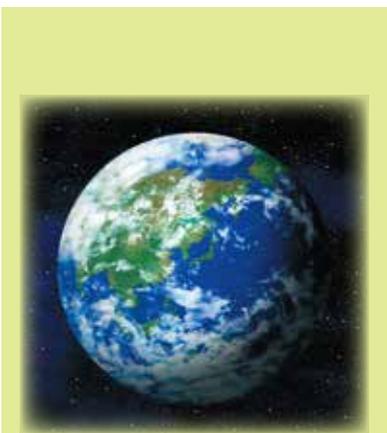
問 桂川駅周辺に保育所をとの要望があるが。

答 (井上町長) 桂川駅自由通路及びエレベーター完成により、駅南側の発展が期待される。

駅周辺に保育所を作ってはという提案はよく聞く。現在、条件等を整備・調整中。

(注3)「青地」 農業上の利用を確保すべき農地

「白地」 青地指定がされておらず、制限が比較的緩くなっている農地



つぶやき

SDGs (エス・ディ・ジーズ)

人類の存亡に関する大問題に対処するため、2015年、190を超える国連加盟国によってスタートしたのが「持続可能な開発目標、SDGs(17の目標・169のターゲット)」です。

地球には、神秘的にも自浄能力が備わっています。河川や沼には汚れを餌にする微生物がいて、微生物は魚の餌になります。また、人類が出す二酸化炭素を植物が光合成で分解し、酸素を放出します。すなわち環境に対する負荷が許容範囲ならば、地球環境は持続可能です。

今の世代は地球の力(復元力)の1.3倍の負荷をかけ地球を痛めています。例えば、化石燃料(石炭・石油・天然ガス)は数千万年の間に動植物の遺骸により生成されたもので、それを百年そこそこで使い尽くしつつあるのは人間のエゴイズムでしょう。

地球に対する蛮行は、環境・資源、地球社会の危機です。地球に優しくする(SDGsを実現すること)が求められます。

林 英明



12月定例会で審議された結果



【議案】	件名	審議結果
同意第3号	桂川町教育委員会委員の任命について	【同意】 全員賛成
議案第38号	飯塚地区消防組合理約の変更について	【可決】 全員賛成
議案第39号	損害賠償の額を定めること及びこれに伴う和解について	【可決】 全員賛成
議案第40号	町道路線の廃止及び認定について	【可決】 全員賛成
議案第41号	桂川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】 全員賛成
議案第42号	福岡県重度障害者医療費支給制度等の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	【可決】 全員賛成
議案第43号	桂川町子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】 全員賛成
議案第44号	桂川町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】 全員賛成
議案第45号	令和2年度桂川町一般会計補正予算（第3号）について	【可決】 賛成多数
議案第46号	令和2年度桂川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	【可決】 賛成多数
議案第47号	令和2年度桂川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	【可決】 賛成多数
議案第48号	令和2年度桂川町水道事業会計補正予算（第3号）について	【可決】 賛成多数
【追加議案】		
意見書案第3号	不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書（案）について	【可決】 全員賛成

○12月定例会の様子は桂川町HP『議会』で、ご覧になれます。

○3月定例会予定 3月2日～3月17日（一般質問は3月8・9日）